

わたしたちの物語

丁さん(85歳) & 大正大学社会福祉学科4年 遊佐菜月さん

生まれ育ちは香川県萩原村、本家があつて分家…4代目ぐらゐの家の生まれだね。
親父は戦争に行つてね、国がお金をくれて…いくらでもないんだけどね。

母が亡くなつたのは昭和二十年八月頃。

戦争後…終わる前だと思つただけどね、暮れの前。

その時本家に行つたんだよ。その時は5歳だね。

その時には両親は亡くなつていたよ。

その本家の方にも子どもが10人いたんです。

そこで私と兄貴とが本家の方に行つて…男だから。

妹は母方の方に行つたの。

学校に行つてないんですよ。

小学校に1年のときには行つてただけど、丁度学校に行く日にね、頭をけがしてね…
半年ぐらゐ行けなかつたんですよ。

その時はいい先生がいなかつたんですよ。

みんな戦争の方に行つちやつて。

まあその後、行くか行かないかになつて、

一応分家の長男みたいなもんだつたから、行かすと言われたけど、ついていけないですよ
一年も休んじゃあね。だから学校に行かずに遊んでましたよ。

それでその後田舎に帰つて、田んぼの仕事して…それが嫌だつたね。

雑草とか抜いたりするんだけど足が悪くなつてね。

弱いんですよ、昔から。だから田んぼ嫌だなつて。

その後は神戸に行つて、神戸に母方の叔父さんがいたから。

そこで3年ぐらゐ遊んで…それで叔父さんに言われて行つたのが、大阪で、
そこで奥さんと出会つたんですよ。



横浜にある運輸の仕事でね、船からの荷物を出す仕事だったんだよ。
その後、東京の関東船舶…同じ仕事で日本鋼管のパイプで組み込んだりね。
月40万くらいだったんだね。

使い道は同僚に言われて競馬に行つてね

それがきっかけではギャンブルをやり始めてね。

その後は埼玉の日本製紙と王子製紙が合併してる会社があつてね
その下請けとしてやってただけで、長続きしないんですよ…
紙が重いから。合紙業で紙を作つてね。70代まで働いてたね。

今は腎臓が悪くて、透析をやつて、

治療を受けながら生活保護と年金で暮らしているんですよ。

この家は2年前からでね、色々回つてやつと今の家に来たんだよ。

3軒か4軒かのうちでは、家として狭いけど一番良かったね。

庭があるのもいいね。

もうちよつと木とか生えてるとよかつただけで…

昔は花も自分で買つてきたりね。

今は休みの日は駅の近くの川や飛鳥山の公園、

王子神社のあたりを2時間ぐらい歩くんだよな。

歩かないとね4時間ぐらい寝っぱなしでしょ？

腰が痛くて寝られなくて。



今は自由に歩きたい。

今はただ自由に歩けたらね。

昔はあつちこつち行つてたけど…巣鴨にあるお地蔵さんとか行きたいね。